

# 平成 29 年度 鑑石園ヘルパーステーション

## 事業報告書

### 1. 事業運営の概況

平成 29 年度ヘルパーステーションにおいては、当初 4 名の職員配置で事業を実施していたが 6 月をもって 1 名の職員が退職した。

職員不足や利用者様の入院・施設入所等により、下半期の派遣件数が低迷したことから、稼働率は前年度を下回る 75.8%となった。また、平成 29 年度をもってヘルパーステーション事業を廃止する事となった。

### 2. 事業計画実施状況

#### (1) 業務内容の充実

市内の居宅介護支援事業所へ毎月の利用状況報告などの為に訪問し、利用者数拡大に努めた。ケアマネジャーとの情報交換を行い、信頼を得ることで継続的な利用の確保と、新規利用者獲得の為に働きかけを行った。

#### (2) 職員の資質向上

##### ① 鑑石園職員信条の唱和

月 2 回行うケース検討会議の場において、鑑石園職員信条を唱和し、職員としての自覚を持ち、業務に臨んだ。

##### ② 外部研修及び内部研修

富士市が主催する研修に参加し、職員の資質向上に努めた。また外部研修に参加した職員が講師となり、ケース検討会議の場で内部研修を行った。職務上必要と思われる内容については、ヘルパーステーション独自の内部研修として勉強会を行い、職員の資質向上に役立てた。

#### ・ 外部研修

11 月 富士市健康づくりヘルパー事業所連絡会

・ 内部研修

月	研修内容
4月	接遇マナーについて
5月	緊急時のマニュアル確認
6月	介護技術について
7月	あいまいゾーンについて、清拭方法
8月	苦情対応について
9月	認知症について
10月	自己評価表について、口腔ケアについて
11月	食事介助について
12月	介護記録について
1月	ヒートショックについて
2月	ヘルパー事業廃止について
3月	今年度の反省

(3) サービスの質の向上への取り組み

① ケース検討会議

月2回のミーティングで、個々の利用者様についての情報交換や、伝達事項を周知した。ケース検討を行い、一人ひとりの利用者様に対して理解を深め、ヘルパー全員が統一した援助を行えるよう努めた。

② サービス担当者会議への出席

必要に応じて随時開かれるサービス担当者会議に積極的に出席し、ケアマネジャー及び他関連事業所との連携を強め、利用者様へのサービスの質の向上を図った。

(4) 職員の健康管理

ヘルパー全員を対象に毎月の細菌検査と、年に1度の健康診断、冬季にはインフルエンザの予防接種を実施した。

個々の職員による感染症予防対策として、手洗い、うがい、マスクの着用等を励行し、健康管理に努めた。